

水雷職域の先輩から



永岡靖宏

出身：愛媛県松山市

出身校：松山中央高校
松山大学

1 主な職務

潜水艦の（水測員）（水雷幹部）として勤務。

2 職務の内容

潜水艦は基地を出港して潜るまでは他の艦艇（護衛艦など）と同じように海上を航行します。潜水艦水測員は、潜舵（艦橋セールから左右に出た航空機の主翼みたいなもの）の上に立ち、双眼鏡を持って見張りを行います。潜水艦は他の艦艇に比べ小さく黒く、他の船舶から発見されにくいいため、レーダー以外に潜望鏡と艦橋及び潜舵の目視見張りが安全運航に重要な役割をします。

また、潜水艦には窓がなく、海中は電波も遮断されレーダーも使えないため潜った後は音だけが頼りになります。音と言っても、映画のように「ピコーン」なんて音を出したら敵に見つかり攻撃されてしまいますので、実際には敵の船舶や艦艇が出す音を聞いて、どの方向でどのくらいの距離にいるのかを判別し船舶や艦艇の種類、大きさ、速さ、針路等を分析します。



(潜水艦徽章)



3 職種（職域）で良かった事、楽しかった事

潜水艦に乗れる人は海上自衛官の定員約4万5千人のうち、約5パーセントと言われる狭き門です。まず、適性検査に合格し広島県呉市にある潜水艦教育訓練隊において4か月間の厳しい訓練を受け、専門知識を学びます。その後、4か月かけて実際の潜水艦における部隊実習を経て、最終審査に合格した者だけが潜水艦乗組員として認められ、潜水艦徽章（ドルフィンマーク）を制服の胸に付けることができます。この徽章こそが、私たち潜水艦乗りの誇りです。

また潜水艦乗組員には、基本給（現号俸）の45パーセントの乗組手当のほか、出港日数に応じて航海手当、長期潜航手当が付くため、自衛隊で一番の高給取りにもなれます。

4 これから自衛官を目指す若者へ

まずは、海上自衛隊に入隊して各教育隊（横須賀、舞鶴、呉、佐世保）で基本教育を受け、様々な職種の中から自分が何をやりたいかを決めることから始めましょう。もし潜水艦の適性があれば、貴重な体験が出来ますので是非とも挑戦してください。

水雷職域の先輩から



望 月 崇 弘

出 身：静岡県静岡市

出身校：静岡北高校

1 主な職務

護衛艦の水測員として勤務。

2 職務の内容

水測員の仕事はパッシブソナーやソノブイを使って海中を探索し敵潜水艦を
探知、単魚雷やミサイルで攻撃します。

また、潜水艦の信号を分析して、潜水艦の国籍、種類等の判別も行います。
護衛艦の出入港時には甲板で栈橋の設置作業や内火艇の運航も行います。



3 職種（職域）で良かった事、楽しかった事

水測員は護衛艦では1分隊(攻撃要員)の為、水測員としての仕事の他に大砲
やミサイル等の武器の知識を身に付けることができます。水測員は潜水艦を発見
するのにレーダーは使わず、自分の耳を研ぎ澄ませて潜水艦を探索するので
発見した時の達成感は非常に高いです。

また、潜水艦の解析もするので他国の潜水艦の信号を勉強することにより自
分の知識で潜水艦の国籍や種類も判別できる楽しさもあります。

1分隊は所属している人員が多いため色々な作業を行います。艦に搭載され
ている25人乗りのボート(内火艇)の運航も行うので1級船舶の資格も取得で
きます。そして内火艇は小さい船ですが操縦はとても楽しいです。

4 これから自衛官を目指す若者へ

海上自衛隊には艦艇部隊、航空部隊など様々な職域があります、どの職域で
もあなたが活躍できる場所があります。自分に合う職域で楽しみながら仕事し
ませんか？